

第7期計画

第8期計画基本方針(案)

基本理念が示す「地域包括ケアシステム」の深化・推進は、2025年、2040年を見据えた長期的な取り組みであり、第8期計画でも継承する。

基本理念	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく安心していきいきと暮らし続けられるまち 久留米 ■地域共生社会の実現 ■地域包括ケアシステムの推進
べき姿	●自分の力を活かして、健康で自立した生活ができるまち ●見守り、支え合いの心が生きるまち ●安全に、安心して暮らし続けることができるまち

基本理念	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく安心していきいきと暮らし続けられるまち 久留米 ■地域共生社会の実現 ■地域包括ケアシステムの推進
べき姿	●自分の力を活かして、健康で自立した生活ができるまち ●見守り、支え合いの心が生きるまち ●安全に、安心して暮らし続けることができるまち

国の基本指針(8期計画充実事項)	
1	2025・2040年を見据えたサービス基盤、人的基盤の整備
2	地域共生社会の実現
3	介護予防・健康づくり施策の充実・推進(地域支援事業等の効果的な実施)
4	有料老人ホームとサービス付き高齢者住宅に係る都道府県・市町村間の情報連携の強化
5	認知症施策推進大綱を踏まえた認知症施策の推進
6	地域包括ケアシステムを支える介護人材確保及び業務効率化の取組の強化
7	災害や感染症対策に係る体制整備

課題

アンケート調査	◇介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 ・介護・介助が必要になった原因、リスク要因の予防(骨折・転倒・脳卒中等) ・サービス未利用者の検証 ・地域への参加促進 ・地域でのたすけあい ・趣味や生きがいづくり、地域活動参加による健康状態とリスク該当者の関連性
	◇在宅生活実態調査 ・老老介護の問題 ・介護サービス以外の生活支援 ・主な介護者への支援(外出の付き添い、送迎等、排泄、入浴等) ・主な介護者の就労継続支援 ・災害時の避難所への移動支援
	◇介護サービス事業所調査 ・介護職員不足への対応(「採用が困難」「離職率が高い(定着率が低い)」「賃金が低い」「仕事がつらい(身体的・精神的)」 ・地域との連携

ヒアリング	(地域での健康づくり活動・介護予防について) ・身近な活動の場が必要 ・運動することの効果について実感がある ・居場所、集いの場(通いの場)が必要 ・認知症カフェに通うことで進行が遅れた ・人に頼らず自分たちの力でやっていくことが大事 ・面白い、楽しいということを実感することが必要
-------	---

第7期進捗状況	・保健と介護の連携 ・介護予防教室終了後の地域の受け皿整備 ・求人内容と求職者ニーズのミスマッチ ・老人クラブの会員減少、会員の高齢化に伴い活動継続が困難 ・効果的な見守りの仕組みづくり ・入退院調整ルールの浸透 ・避難行動要支援者名簿制度の認知向上 ・地域包括支援センターの認知向上 ・支え合い推進会議等の充実 ・地域資源の発掘、養成、組織化 ・介護家族支援に関する周知・啓発 ・認知症の人やその家族への支援の充実 ・地域での認知症の人を見守る取り組み ・介護の負担軽減や認知症への理解促進 ・施設従事者のスキル向上やノウハウの蓄積による虐待への早期の対応 ・セーフティネット住宅の登録促進 ・高齢者等の移手段の確保 ・権利擁護支援の地域連携ネットワーク整備や、中核機関の設置 ・高齢者関連の交通事故防止 ・高齢者等の多様なニーズの的確な把握 ・介護人材不足への対応 ・施設待機者の状況を踏まえた保険料推計
---------	--

専門部会意見	・地域や世代間の関係性の希薄化 ・自治会加入率低下 ・老人クラブ加入率低下 ・地域の担い手不足 ・中心部のマンションの閉じこもりやゴミ屋敷の増加 ・高齢者の変化(地域で集まるより、趣味など自分の楽しみを見つけていく) ・高齢者や認知症の当事者と家族の考え方の変化 ・介護事業者等と自治会や民生委員、社協のつながり
--------	---

施策体系	<b>第1章 健康づくりと介護予防の推進</b> ◇健康づくりの推進 ◇介護予防の推進
	<b>第2章 高齢者の積極的な社会参加・参画</b> ◇高齢者の就業支援 ◇生きがいづくり・仲間づくりの推進 ◇生涯学習・障害スポーツの推進
	<b>第3章 高齢者の在宅生活を支える仕組みづくり</b> ◇一人暮らし高齢者等への在宅生活支援 ◇介護家族への支援 ◇災害時のための支援体制等 ◇生活支援サービスの体制整備
	<b>第4章 地域連携による高齢者支援</b> ◇地域包括支援センターの機能充実 ◇地域ケア会議の効果的な運営 ◇在宅医療・介護連携の推進
	<b>第5章 認知症施策の推進</b> ◇認知症への理解を深めるための普及・啓発 ◇認知症に早期に気づき対応できる仕組みづくり ◇認知症の人を介護する家族への支援
	<b>第6章 高齢者の権利擁護</b> ◇成年後見制度の普及・利用促進 ◇虐待防止・早期発見・早期対応 ◇高齢者の権利擁護等に関する相談支援
	<b>第7章 生活環境の整備</b> ◇高齢者が安心して暮らせる住環境の確保 ◇ユニバーサルデザインのまちづくり ◇高齢者が円滑に移動できる環境整備
	<b>第8章 介護保険事業の円滑な実施</b> ◇保険者機能の発揮・向上 ◇介護サービスの質の確保 ◇給付の適正化 ◇適正な要介護認定 ◇介護保険制度の周知・啓発と相談体制の充実 ◇介護サービス事業所に対する防災対策の啓発・指導
	<b>第9章 介護サービスの見込量と保険料</b> ◇介護サービス基盤の整備方針 ◇介護保険サービス等の見込量の推計 ◇第7期計画における第1号被保険者保険料 ◇低所得者への配慮

分野横断的な視点(新規)	1 支え合う関係性の構築
	2 地域資源の連携
	3 多様化するニーズへの対応
	4 効果的な情報発信
	5 ICTの活用
	6 新しい生活様式を踏まえた「新たな日常」の構築
	7 災害や感染症へ備えた体制の整備

施策体系(案)	※現段階では主要項目のみを列記 1 健康づくりと介護予防の推進 高齢者の健康づくり、介護予防事業の推進
	2 高齢者の社会参加・参画の促進 高齢者の社会参加と生きがいづくりの促進
	3 高齢者の在宅生活支援の充実 高齢者が、在宅生活を継続していくことができる生活支援の充実
	4 高齢者への支援体制の充実 相談機能の充実 地域課題の解決に向けた地域連携や多職種連携の促進
	5 認知症施策の推進 地域の中で、認知症の方やその家族の方を支える施策の推進
	6 高齢者の権利擁護 成年後見人制度など高齢者の権利擁護のための施策の充実 高齢者の虐待防止など人権の擁護
	7 生活環境の整備 高齢者の在宅による地域生活を支援する環境整備
	8 介護保険事業の適正な運営 計画期間内における介護保険事業量の推計 介護保険料の算出 介護保険事業の適正な運営に向けた取組

新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた計画の推進